

令和2年度 第2回 大阪市障がい者施策推進協議会 障がい者計画策定・推進部会
議事要旨

日時：令和3年2月24日(水)午後2時～午後3時30分

会場：大阪市役所 地下1階 第11会議室

【 次期「大阪市障がい者支援計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画」(素案)に対するパブリック・コメントの結果について 】

【 次期「大阪市障がい者支援計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画」(案)について 】

《 資料1・2について説明 》

- ・ 平野区において、2019年以降3件の痛ましい事件が起こっているが、このことが、計画にどう生かされるのかというところに結びついてなければ、この計画は本当に、意味のないものになってしまう。この件についてどのように思い、どのように取り組んでいくのか。
安心して暮らせる社会づくり、地域づくりのために、この計画が一つあるわけで、この計画をいかに、しっかりと地域だけではなく、すべての人が理解して取り組んでいけるようなことを行っていかなければならないと考え、大阪市で実施している、あいサポート運動も活用しながら、障がいのある人についての理解を深めていただくことができるように、行政としてもしっかりと、進めていかななくてはいけないと考えております。
- ・ 相談先がどこなのかわからない。きちんと相談にのってもらえない等の意見が多い。
- ・ 問題可決のやり方について、きっちりとした連携が必要ではないか。
- ・ 自閉症のかたのコミュニティについての回答はこれで良いのか
相談支援の充実、さらには、相談支援体制の強化といったような文言でしか、記載はしてありませんが、計画としては、充実をしていかななくてはいけない。強化をしなくてはいけないだという方向性をきちっと示した上で、施策をしっかり進めていきます。
- ・ 大阪市もペアレントメンターや当事者の方の集まる場について区単位で行うことができれば問題解決につながるのではないか。
自閉症の方などの居場所ということにつきましては、課題だと認識しておりますが、現状と課題を整理した上で、検討していく必要があると現状考えております。
- ・ 計画を読んでも、行き場所・相談場所がわからないし理解できない。
- ・ 別居支援を求めている内容に対して、相談支援に努める内容の回答では、回答になっていないのではないか。
- ・ 当事者家族にとっては、この計画は意味がない。
行政計画でございますので、あくまでこの施策をどの方向に向けて進めるのかということ、うたうものと我々は認識しております。従いまして、計画を読んで、これで何をしていく、何をしたらいいのか、何をどこに行けばいいのかといったようなところが、記載されていないというのは、その通りです。

- ・ 計画内において、スタートからのアプローチ等の相関図的なものの記載ができないものか。
可能ではございますが、こういったものを入れていくのかといった点について、議論が必要でありますので、次の計画策定時では、そこをもう一度皆さんの方としっかりと議論し、よりわかりやすく理解できる計画にしていきたいと思えます。
- ・ 長居障がい者スポーツセンターについて、積極的な方向性を打ち出してほしい。
- ・ 読書バリアフリー法については、宮城県仙台市において、具体的に新たな制度を実施しているので、大阪市としても、参考とし、具体的方向性を示してほしい。
- ・ 災害時の障がい者行動支援・避難計画について、福祉避難所を即時設置し直接避難所へ行ける対応としていただきたい。
- ・ 手話奉仕員養成講座の場所の確保について、大阪市としても区と連携して取り組んでいただきたい。

【 大阪市障がい者支援計画」の進捗状況について（報告） 】

《 資料6 について説明 》

- ・ 進捗の報告時期が遅い。
- ・ コロナの影響等、状況を踏まえた資料作成を行っていただきたい。
了解しました。

【 議題外意見 】

- ・ 新型コロナウイルスのワクチンについて、視覚障がい者の方への情報提供について、点字、音声版等個々の状況に応じて情報提供を行っていただきたい。
- ・ 情報の配布について、最も多数の人のところへ行く情報源を使い情報を流していただきたい。
- ・ 了解しました。